令和４年度　第３回　津山市地域公共交通会議　会議要旨

令和４年１１月 １日　 14:30～
津山市役所東庁舎　Ｅ101 会議室

１　開会　明楽産業経済部長

委員１５名中１３名の出席（委任状１名）により、半数以上の出席が確認できましたので、規定に基づき会が成立していることを報告。

２　会長挨拶　桒村会長

３　付議事項

（1）津山市地域公共交通計画の策定について

【事務局説明】

本年度、津山市地域公共交通計画の策定につきましては、令和４年度６月定例市議会において策定委託料について承認をいただき、７月１日に策定支援業務のプロポーザルの公募を開始、参加意向と企画書の提案を受け、８月８日に２次審査、翌９日に「株式会社バイタルリード」様を最優秀提案者に選定し、８月２２日に「津山市地域公共交通計画策定支援業務」契約を締結した。

（バイタルリード）

～資料に沿って説明～

～　全会一致で承認　～

（2）地域公共交通確保維持改善事業＊1の評価について

＊1　生活交通手段を確保する事業として、バスを運行している事業者に直接、国庫補助金を交付する事業となる「地域公共交通確保維持改善事業」があり、本計画はその事業の前提となる計画である。本計画は「津山市地域公共交通会議」で策定・承認されなければ申請できない。

【事務局説明】

地域公共交通確保維持改善事業の評価について、内容に入る前に、付議事項２補足資料を説明。

本資料は、事業評価についての本市の考え方をまとめたもの。

令和３年１０月から令和４年９月までのフィーダーについての評価。

［事業評価基準］

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響は見られましたが、積極的に利用促進や調査活動を実施しており、全て適切に実施しているということで、「A」評価としている。

［目標・効果達成状況］

当初目標は利用人数に対する評価とし、評価基準を次のとおり設定しました。A（目標達成）は、１００％以上の達成、B（一部未達成）は、９９％～７５％、C（未達

成）は、７5%未満と定めた。これは、令和３年１０月から令和４年８月までの中国運輸局管内の路線バスの輸送収入の対令和元年同月比の平均値と比較して設定した。

以上を踏まえ、付議事項２のとおり評価を行った。

この評価について、ご審議をお願いする。

【委員Ａ】

（３）ごんご小循環線の⑥改善点について、令和４年度ごんご小循環線利用者数が目標値に対し７０％であったが、その目標を達成しなかった主な要因は何でしょうか。

【事務局】

目標値については、コロナがまん延する前の令和元年度とまん延した後の令和２年度の平均値として設定している。

要因については事務局としても把握できていないが、利用者については年々減少している路線であることから、中鉄北部バスと相談しているところで、根本的な見直しが必要ではないかと話している。

この路線は、観光地である城東地区・城西地区を結ぶ路線であることや市内中心部にある病院への通院で利用してもらうことを想定している。

利用者減少の１つの要因として、観光客の減少や通院に自家用車を使用していることが想定される。

【委員Ａ】

小循環線の運行ルートは、元々人口が減少している地域を走っているという認識でよいか。

【事務局】

運行ルートについては、人口減少地域ではなく、中心市街地を循環しているルートである。

【委員Ａ】

観光目的で利用する人が多いという理解で良いか。

【委員Ｂ】

主に観光目的で利用されていると認識している。

【委員Ｃ】

観光メインの路線という話だが、そもそも観光客が小循環線をどのくらい利用していたかと言うデータはありますか。本当に観光客がターゲットでそれが減ったから、こうなったという説明が成り立つのか分からない。

また、別紙１⑥の今後の改善点と別添資料のＰ１３で文章の表記が違うので、どちらかに揃えるべきだと思う。ここだけが、７０％と他と比べて非常に目立つので、原因を調べていただきたい。

【事務局】

別添資料Ｐ１３の表記に揃えます。また、令和４年度の利用者数３，369 人には、さくらまつりやデスティネーションキャンペーンのイベント時の利用者数が、運行ルートを変更していることから含まれていない。

このことも、利用者の減少に影響している。

～　全会一致で承認　～

４　報告事項

【事務局】
～報告事項１、２について説明～
（報告事項１、２ 資料参照）

＜報告事項１の事業内容について＞

【委員Ｃ】
報告事項（１）について、ＩＣカードを導入するのは、ごんごバス循環線のみか。
【事務局】
現状では、コミュニティバス全体に広げていきたいと考えている。
来年度、ごんご加茂線・勝北線にも広げていきたいと考えていたが、バス製造事業者の状況でバスの購入見通しが立っていないことから、方針が定まっていない。バスの更新が出来ましたら、順次導入していきたいと思っている。一般の路線バスについても、中鉄北部バスや補助金の関係から沿線の市町と相談しながら広げていければと思っている。
【委員Ｃ】
将来的には広い範囲で使えるようになるということか。
【事務局】
はい。
【委員Ｃ】
津山線ではＩＣカードは使えないのか。
【委員Ｄ】
使えません。
【委員Ｃ】
そのうち使えるようになるのか。
【委員Ｄ】
そのうち使えるようになると思う。
【委員Ｃ】
鉄道を利用して降りて市内を回ってもらうとして、肝心の鉄道が使えないのは不便ですので、是非とも対応をお願いする。
【委員Ｅ】
地域住民にとってＩＣカードは馴染みのないものだと思うので、使い方の宣伝などについてはどう考えているか。
【事務局】
宣伝については、中鉄北部バスと協力して行っていきたい。

５　その他

【事務局】
付議事項１「津山市地域公共交通計画の策定について」時間がない中での策定となり、委員の皆様には色々とお願いなどをさせていただくこともあるが、是非とも協力をお願いする。

～　閉会　～